

スポーツYAMATO

新海 2 打点

小泉病院 3-2 撃破



交流節初戦はサファイアリーグ2位の小泉病院との戦い。この初戦を取って勢いづきたいのはお互い同じ考えだろう。この試合先制点をもぎ取ったのは大和電機、新海雪奈の一振りだった。先週から好調が続く新海は、甘く入ったチェンジアップを振りぬぎ、打った瞬間にホームランとわかる打球は左中間へと消えていった。このまま押せ押せムードで行くかと思えたが、さすがはトップリーグ経験者も多い小泉病院。2回の裏に小技を絡めて一気に2点を取り逆転した。その後は試合が動かずお互いに追加点を奪えずにいたが、6回表、2番古賀がセーフティーバントで出塁するとまたしても絶好調の新海に打席が回ってきた。新海はチームの期待に見事応え、左中間を深々と破るタイムリリー2ベースヒットでついに大和電機は2-2の同点に追いついた。もうどうにも止まらない新海のバットは小泉病院にとっては脅威だっただろう。7回を終えても同点だったため試合はタイブレークに突入。8回表の大和電機の攻撃、長尾のセーフティーバントを処理する間に3塁ランナーの新人の森本が味方も敵も意表を突き、本塁に突入する好走塁を見せて待望の勝ち越し点

大串初の延長を制す

この猛暑の中、8回を一人で投げぬいた大串には頭が下がる思いでいっぱい。8回裏は小泉病院の2番打者と3番打者を2者連続三振に切って取り、相手に点を取らせなかった大串。最後は一段とギア意を挙げた気迫のピッチングを披露。実はタイブレークで勝ったことがなかった大串。嬉しい一勝を手に入れた。

をもぎ取った。先週の試合では代走で出場するもただ塁間をウロウロして終わってしまったが、その苦い経験がこの大事な場面での好走に繋がった。もう誰からも「ウロウロ森本」とは呼ばせない。

